職工團は逸早く之を探知し居たる事とて數臺の自動車に分乘し

會社 が復職の調印を迫つたら、爭議團全體の意思に從ふ故決定しないと斷られたとの意味を入れた檄文三万枚を撒布し、別に工場附近に見張りを出し職工

家庭 訪問委員六百餘名が出動して對抗策を取つて居るが、午後四時を期し、京都の民間飛行家安井壯次郎氏は、空中から五万枚の宣傳ビラを撒き、飽まで

防戰 に努むる計畫がある、尚は松方社長は來る十五日倫敦を出發、急遽歸朝の途に就くとの入電があつた(神戸電話)

松本代表反對の示威運動は立消え

認めずとの決議のみにて

汽船クライスト號は無事に神戸港を出帆した

汽船 クライスト號は四日午前十一時豫定の通り神戸を出帆した同船には既報の澤柳、矢作各博士、木内、渡邊氏等の諸名士を載せてる外、勞働團體から反對を叫ばれて居る農業勞働の代表松本圭一氏が在る來神中の

鈴木 友愛會長一派を中心として盛んなる反對運動が船の出帆間際に起るべく豫期されて居たが、何分川崎、三菱兩造船所の爭議が白熱化して居る爲、指揮役である幹部や勞働者側はそれ所でなく、單に

別項 の如く川崎、三菱兩造船所合同の演說會で、五箇所が一致して『官選の松本氏を斯界代表者と認めず』と決議したのみで、同船は多數の見送り人の歡呼と、三々伍々集まつた勞働者の集團の松本代表反對の絶叫との間に徐ろに出帆する事が出來た(神戸電話)

8.5 大10

三菱解決か

友愛會及三菱へ斡旋者の大奔走

要求條件修正

三菱の爭議は俄然局面展開していよ〳〵解決の機運に向つたが此間を斡旋しつゝある〇〇氏は四日午前九時

友愛會 神戸支部に鈴木文治氏を訪ひ同社樓上にて松岡、木村、赤松の幹部連も參加し絶對秘密裡に協議を進めたる結果要求條件中に或る種の修正を附したるものを〇〇氏が齎して直に會社に向つて出發會社にては緊急

重役會 を開き同日午後三時迄に確答を與ふる事となつたが各方面よりの情報を綜合するに爰一兩日中には是非とも圓滿に解決するものと觀測されて居る

三菱の處置は三菱自身がやる

職工の要求や調停者の斡旋で動かされぬ

◇孕石所長の言明

四日午前三宅川重役其他と重要會議を遂げた孕石三菱造船所長は語る『由來我三菱は職工に要求されて何かの施設をするものではなく時勢に應じ爲すべき事は爲し又排すべきは排するを方針としてるので職工退職手當杯も昨年會社が

自發的 に決定したのだ今回の爭議——爭議とは自分等は思つて居ないが——此騷ぎについても會社は最初から三菱として爲すべき事は遂行すると說明して居るので其間調停、仲裁を申出でられる向も多いが會社は其爲め讓歩や條件認容を敢てする樣な事はない、此理由で所謂調停者は皆お斷りした

今後も 右の態度は替へぬ、世間が調停で濟んだとか解決したとか言はるゝ事は調停者にも會社自身の爲にも職工の爲にも萬全の策ではない、總て自然の力に依つて解決する迄は他より抗議を申込まれる筋はあるまいと思ふ』云々尚三菱武田會長は三日夜神戸を引揚げて歸京した(神戸電話)

過激演說の職工處刑

禁錮三箇月

神戸市勞働爭議演說會に於て過激なる演說を爲したる廉にて神戸區裁判所にて審理中の元川崎職工青垣善一郎は檢事の求刑二箇月より重き禁錮三箇月に處せられ其他數名も夫々判決言渡された(神戸特電)

飛行機利用で切崩しに對抗

兩造船の罷業團本部

檄文數萬を撒布す

川崎三菱兩爭議團本部では會社側の猛烈なる切崩し戰に對抗する爲め四日未明より

大活動 を開始し檄文數萬枚を自動車數臺で撒布し其他罷工職工の戸別訪問を行つて結束を堅めたが近く京都より民間飛行家を雇つて空中宣傳を行ふと、尚本日午前十一時友愛會本部より『第二第三の應援戰士を送る資金の準備あり奮闘せよ』との電報を寄越したので罷工團側では

氣勢を 擧げて居る因に四日の兩社職工の出勤數は會社側の發表では川崎六千八百七十七名で前日より三百四十五名を増し三菱は四千百八十八名で百九十三名を增した(神戸電話)

神戸爭議の拔劍事件

問題となる

◇被害工の解剖

神戸勞働爭議の警察官拔劍事件は法曹界の問題となつて東京の星島辯護士其他數氏來神、眞相調査の上官憲の不法行爲を糺彈する事となつたが二十九日衝突の際重傷して四日死亡した兵庫分工場職工常峰後一(二二)の死體は四日午後三時攝津病院で長谷川醫師執刀友愛會松岡理事、裁判所書記等立會の下に解剖に附し午後六時終了したり(神戸電話)

東西呼應して官選代表を認めず

農業勞働代表松本圭一氏の出發に反對氣勢を揚ぐ

四日 神戸を出帆するクライスト號には木内重四郎、渡邊勝三郎、澤柳、矢作、小西、後藤各博士、今村文部省參事官等多數の名士が搭乘して歐洲に向ふ筈であるが、同船には農業勞働代表としてゼネヴァに赴く松本圭一氏もあり

東京 では友愛會、其他の勞働團體より盛んなる反對運動が起つて居るし、恰も勞働爭議の渦卷の中にある神戸でも同日各勞働團體に依つて出發間際に反對運動を行ふべく

來神 中の鈴木文治氏、松岡駒吉氏等が中心となり、大阪の各團體も之に應援し『官選代表者を認めず』との宣傳ビラを配布して大に氣勢を擧る計畫である(神戸電話)